

安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電などを防ぐため、下記の注意事項にしたがって、正しくお使いください。

カメラユーザーガイド(応用編)の「取り扱い上のご注意」も必ずお読みください。

⚠ 警告

- 指定外のバッテリーを使用しないでください。
- バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプター(別売)の出力端子は、本カメラ専用です。他のバッテリーや製品にはお使いにならないでください。
- ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。
- お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。
- 落下などで、強い衝撃を与えないでください。カメラのストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。
- 煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

⚠ 注意

- 絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押ししたりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

ご相談窓口やホームページのご案内はカメラユーザーガイド(応用編)の裏表紙をご覧ください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

CDI-J184-010

XXXXXXX

© 2005 CANON INC.

PRINTED IN JAPAN

Canon



キヤノンデジタルカメラ

PowerShot S80

基本編

準備する

撮影する

撮影時の基本的な機能

再生する / 消去する

メニューの表示と設定のしかた

印刷する

パソコンに画像を取り込む



カメラユーザーガイド はじめにお読みください

本書では、カメラの準備や基本的な使いかたを説明しています。



ガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

付属品・別売品を確認する



システムマップ

準備する

- ・バッテリーを充電する
- ・バッテリー、メモリーカードを入れる
- ・日付・時刻、言語を設定する



カメラユーザーガイド
基本編（本書）
*はじめにお読みください

撮影する
再生 / 消去する

メニューの表示 / 設定方法

取り扱い上のご注意、撮影や再生のいろいろな機能を確認する



カメラユーザーガイド
応用編

印刷する



ダイレクトプリント
ユーザーガイド

- ・ソフトウェアをインストールする
- ・パソコンに画像を取り込む
- ・ソフトウェアを使う



カメラユーザーガイド
基本編（本書）



ソフトウェア
クイックガイド



ZoomBrowser EX/
ImageBrowser
ソフトウェアガイド

このカメラでは、SD*メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

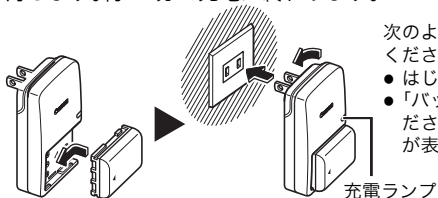
* SD = Secure Digital (著作権保護システム) の略

準備する

バッテリーを充電する

1 バッテリーチャージャーにバッテリーをセットして、コンセントに差し込む

充電中は充電ランプが橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。約90分で充電が完了します。



次のようなときに、充電してください。

- はじめて使用するとき
- 「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されたとき

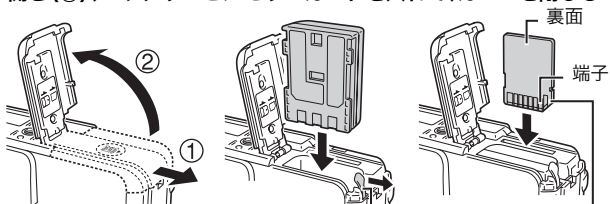
➡ 応用編：バッテリーの取り扱い (p. 132)

準備する

❗ バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。

バッテリーとメモリーカードを入れる

1 メモリーカードスロット/バッテリーカバーをスライドして(①) 開き(②)、バッテリーとメモリーカードを入れて、カバーを閉じる



バッテリーロックを→方向に押しながらバッテリーを入れる

「カチッ」と音がするまで差し込む

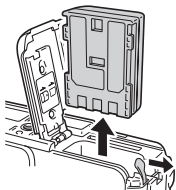
➡ 応用編：バッテリーの取り扱い (p. 132)

➡ 応用編：メモリーカードの取り扱い (p. 134)

❗ メモリーカードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、本体の故障の原因となることがあります。

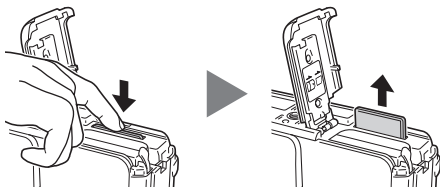
■ バッテリーを取り出すときは

バッテリーロックを矢印の方向に押しながら取り出します。



■ メモリーカードを取り出すときは

一度「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥に押し込んで指を放し、出てきたメモリーカードを取り出します。



準備する



● ファインダー横のランプ(上)が緑色に点滅しているときは、メモリーカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、絶対に次のことは行わないでください。画像データや音声データが壊れることがあります。

- カメラ本体に振動や、衝撃を与える
- カメラの電源を切ったり、メモリーカードスロット/バッテリーカバーを開ける

● 他社のカメラや、パソコン、アプリケーションソフトウェアで初期化または編集したメモリーカードを使用すると、メモリーカードへの書き込み速度が遅くなったり、誤動作する恐れがありますのでご注意ください。

● このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします(応用編 p. 25)。付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。

電源を入れる/切る

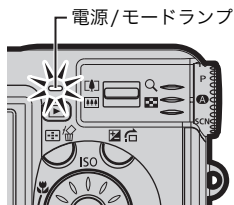
カメラに電源が入っていると、電源/モードランプが点灯します。このランプでカメラの状態がわかります。

橙点灯:撮影モード

緑点灯:再生/プリンター接続モード

黄点灯:パソコン接続モード

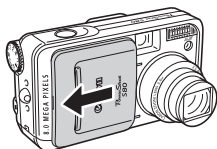
消 灯:電源切



■撮影モードで電源を入れる/切る

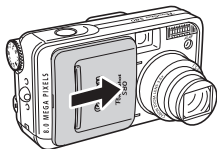
1 レンズカバーを開く

電源が入ると、電源/モードランプが橙色に点灯します。



準備する

2 電源を切るときはレンズカバーを閉じる

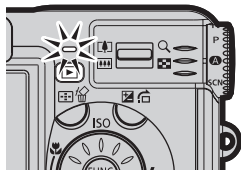


■再生モードで電源を入れる/切る

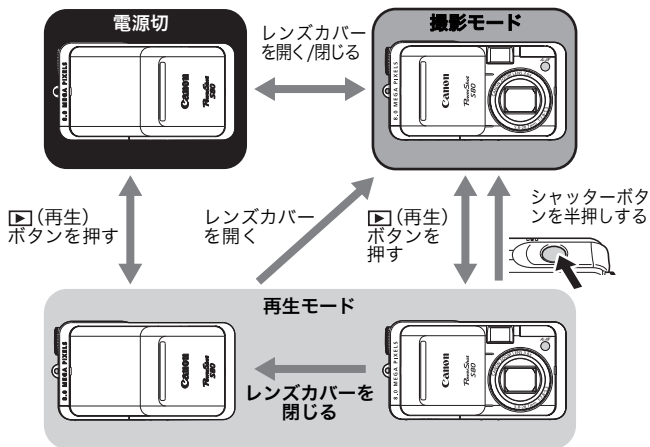
1 (再生) ボタンを押す

電源が入ると、電源/モードランプが緑色に点灯します。

2 電源を切るときは、もう一度 (再生) ボタンを押す



撮影モード/再生モードを切り換える




準備する



- ◆ 電源を入れると起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます(応用編 p. 118)。ただし、撮影モードで液晶モニターを非表示で起動したときは、起動画面は表示されず、起動音も鳴りません。また、カメラの端子をテレビ等に接続しているときも起動画面は表示されません。
- ◆ 電源を入れたときに、液晶モニターに「ライトプロテクト」と表示された場合は、メモリーカードが書き込み不可になっています(応用編 p. 134)。
- ◆ 撮影時はレンズに触らないように注意してください。またレンズを指で押さえるなど無理な力をかけないように注意してください。動作不良や故障の原因となります。カメラが正しく動作しないときは、一度電源を切ってからもう一度入れ直してください。

起動音を消して電源を入れるには

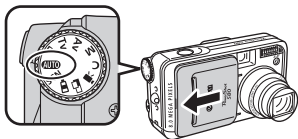
- ◆  ボタンを押しながら電源を入れます。

 応用編：消音設定 (p. 32)

時刻を設定する(はじめてお使いのとき)

1 レンズカバーを開き、モードダイヤルを **AUTO** にする

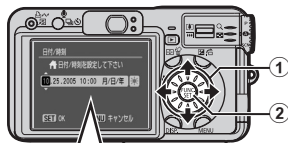
はじめてカメラの電源を入れたとき、または内蔵の充電型リチウムイオン電池の容量がなくなったときは、日付/時刻の設定画面が表示されます。手順2から操作してください。



2 ←/→ で年月日、時刻、日付スタイル、サマータイムを選択し、

↑/↓ で設定する(①)

コントローラーホイールを回しても設定できます。



3 正しい日時が表示されていることを確認し、FUNC./SETボタンを押す(②)



準備する

! バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻が解除される場合があります。再度、設定し直してください。




日付/時刻用のバッテリーの充電について

- ◆ カメラには、日付/時刻などの設定を保持するためのリチウム充電電池が内蔵されており、バッテリーを入れたときに充電されます。ご購入時に4時間程度、カメラにバッテリーを入れておくか、ACアダプターキット ACK-DC20(別売)を使用して充電してください。カメラの電源が入ってなくても充電できます。
- ◆ 電源を入れたときに、日付/時刻設定画面が表示された場合は、内蔵のリチウム充電電池の容量がなくなっています。上記の方法で充電してください。

➔ 応用編：世界時計を設定する (p. 27)

メニュー言語を設定する


1  (再生) ボタンを押す (①)

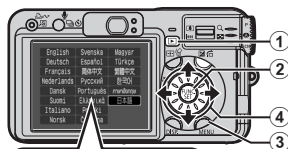
2 FUNC./SET ボタンを押しながら (②) MENU ボタンを押す (③)

動画再生時や検索ジャンプモード (応用編 p. 93)、別売のプリンター接続時は、この操作はできません。

3  /   /  で言語を選び (④)、FUNC./SET ボタンを押す (②)

コントローラーホイールを回しても選べます。

 設定メニューでも言語を設定できます。(p. 15)

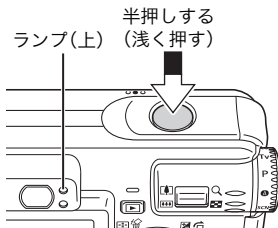


撮影する

1 モードダイヤルを **AUTO** にする

2 被写体にカメラを向ける

3 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる
ピントが合うと、電子音が「ピッ」と鳴り、ランプ(上)が緑色(ストロボ発光時は橙色)に点灯します。



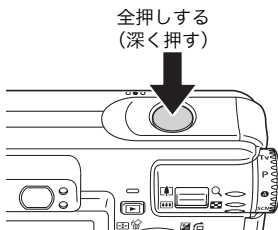
「ピッ」と1回しか鳴らないときは、ピントが合わせにくい状態です。

➡ 応用編：ピントが合いにくい被写体を撮る (p. 66)

撮影する

4 シャッターボタンを全押しする(深く押す)

シャッター音が生じて、撮影されます。



➡ 撮影時の基本的な機能 (p. 9)

➡ 応用編：動画を撮る (p. 45)


➡ 応用編：いろいろな撮影方法をご確認ください。



- ◆ このモードで変更できる設定(応用編 p. 160)
- ◆ 撮影した画像はいったん内部メモリーに保存され、順次メモリーカードに書き込まれていきます。内部メモリーに空きがあるときは、撮影後すぐに次の撮影ができます。
- ◆ メモリーカード記録中はランプ(上)が緑色に点滅します。
- ◆ 電子音、シャッター音の[入/切]は[設定]メニューで設定できます(応用編 p. 32)。
- ◆ ストロボ充電中は撮影できません(シャッターボタンを半押ししたときに ⚡ マークが白で点滅していると、ストロボ充電中です。点滅が点灯に変わったら撮影できます)。
- ◆ 撮影後、液晶モニターに撮影画像が表示される時間を変更したり、表示されないように設定できます(応用編 p. 23)。

撮影直後に画像を確認する

液晶モニターを使っているときは、シャッターボタンを全押しした直後に、撮影した画像が約2秒表示されます。

 応用編：撮影した画像の確認時間を変更する (p. 23)

画像を表示し続けるには

- シャッターボタンを全押ししたときに、そのまま押し続ける(指を放さない)
 - 撮影した画像の表示中に **FUNC./SET** ボタンを押す*
- * スティッチアシストモード(p. 9)では、この操作はできません。



- 撮影した画像が表示されている間に、次のようなことができます(スティッチアシストはできません)。
- ◆ 画像の詳細情報を表示する(応用編 p. 17)
 - ◆ 画像を拡大して見る(応用編 p. 91)
 - ◆ 画像を消去する(基本編 p. 14)
 - ◆ 音声メモを付ける(応用編 p. 100)

撮影時の基本的な機能

撮影モードを選ぶ

撮影モードは、モードダイヤルで選びます。

モードダイヤル

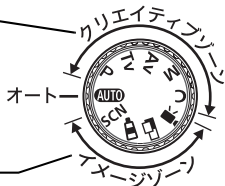
思いどおりの撮影をする
露出や絞りを食べるなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。

AUTO：オートで撮影する

カメラまかせて撮影できます。

被写体に合う設定で撮影する

被写体に合う条件をカメラにまかせて設定し、撮影できます。



イメージゾーン

SCN スペシャルシーンモード

さまざまなシーンに合わせた12の撮影モードが用意されています。

➡ 基本編 (p. 10)



スティッチアシスト

パノラマ合成用の画像を撮影できます。

➡ 応用編 (p. 49)



マイカラー

9つのモードで画像の色味を簡易的に変化させて撮影できます。

➡ 応用編 (p. 57)



動画

シャッターボタンを押すと、動画を撮影できます。

➡ 応用編 (p. 45)

クリエイティブゾーン

P プログラム AE

シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定して撮影できます。

➡ 応用編 (p. 53)

Tv シャッタースピード優先 AE

シャッタースピードを選ぶと、カメラが自動的に絞り数値を設定して撮影できます。

➡ 応用編 (p. 54)

Av 絞り優先 AE

絞り数値を選ぶと、カメラが自動的にシャッタースピードを設定して撮影できます。

➡ 応用編 (p. 55)

M マニュアル露出

シャッタースピードと絞り数値を自由に選んで撮影できます。

➡ 応用編 (p. 56)

C カスタム

よく使う撮影モードや設定を登録しておくことができます。

➡ 応用編 (p. 85)

スペシャルシーンモード

モードダイヤルをSCNに合わせ、コントローラーホイールを回して、撮影モードを選びます。



ポートレート

背景をぼかして人物を浮き立たせます。



風景

広がりのある風景を撮影できます。



夜景

夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影できます。人物にストロボ光をあて、遅いシャッタースピードで撮影するため、人物と背景のそれぞれをきれいに撮影できます。



ナイトスナップ

夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいときに、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。



キッズ&ペット

よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。



パーティー/室内

蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。



新緑/紅葉

新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。



スノー

雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。



ビーチ

太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならず撮影できます。



打上げ花火

打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。

















水中

ウォーターブルーケース WP-DC1 (別売)を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。できるだけストロボ発光しないように制御されます。



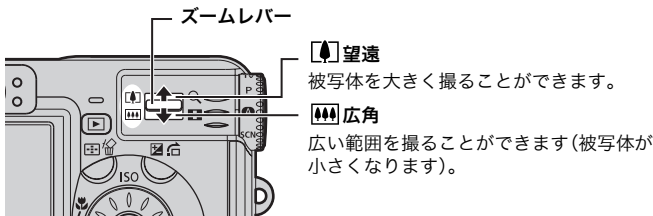
デジタルマクロ

被写体に接近して拡大撮影できます。レンズ前面から被写体までの距離が4cm～44cmのときに使います。

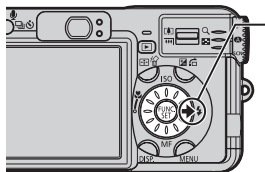
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各撮影モードで変更できる設定 (応用編 p. 160) ◆ 被写体によっては、思い通りの画像にならない場合があります。 ◆ 、、、 では、撮影シーンによっては、ISO感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。 ◆ 選択している機能により、以下のような注意事項があります。
	<p>被写体の上半身が液晶モニターいっぱいになるようにすると、背景を効果的にぼかすことができます。</p> <p>レンズを望遠側にすると背景をさらにぼかすことができます。</p>
	<p>シャッタースピードが遅くなりやすいので、液晶モニターに  (手ぶれ警告) が表示されたら三脚を使用してください。</p>
	<p>シャッタースピードが遅くなります。ストロボが発光してもすぐに動かないように、写される人に声をかけてください。</p> <p>日中に撮影すると、(AUTO) と同じ撮影効果になります。</p> <p>スローシンクロが自動的に [入] になります。手ぶれを防ぐため、三脚の使用をおすすめします。</p>
 	<p>ウォータープルーフケース WP-DC1 (別売) の装着をおすすめします。</p>
	<p>シャッタースピードが遅くなります。手ブレを防ぐために必ず三脚をお使いください。</p>
	<p>ウォータープルーフケース WP-DC1 (別売) を装着してください。</p>
	<p>レンズ前面から被写体までの距離が 1m ~ ∞ でお使いください。</p>

ズームを使う

35mm フィルム換算で、28~100mm (焦点距離) の範囲で画角を調整できます。



ストロボを使う



⚡ボタン

押すたびにストロボの設定が変わります。
(撮影モードによっては設定できないことがあります)

	常にストロボを発光します。
	自動でストロボを発光します。
	ストロボは発光しません。

赤目緩和機能*「入」のとき



赤目緩和機能「切」のとき



* ストロボの光が反射して目が赤く写るのを防ぐ機能です。

応用編：赤目緩和機能の設定 (p. 37)



ストロボで撮影できる距離は、55cm～4.2m(広角)、55cm～2.0m(望遠)です。



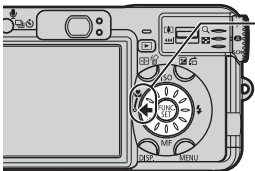
● 、、、、 ではお使いになれません。
● 、**Tv**、**Av**、**M**では、 設定できません。






◆ ストロボ充電中は撮影できません。
◆ ストロボの充電には約10秒かかる場合があります。充電時間は使用状況やバッテリーの容量などにより変わります。

至近距離で撮る

花や小さなものなどに近づいて大きく撮ることができます。
(撮影モードによっては設定できないことがあります)



ボタン

ボタンを押すと、液晶モニターに  が表示されます。
解除するときは、 ボタンを押して  の表示を消します。

被写体に最も近づいたときに撮影できる範囲(撮影距離)

最も広角側: 65 × 49mm(レンズ先端から4cm)

最も望遠側: 107 × 80mm(レンズ先端から30cm)*

*ズーム位置がテレ端とワイド端の間するとき、レンズ先端から被写体までの距離は、テレ端と同じになります。



- マクロでは、液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーを使うと、撮影範囲がずれます。
- マクロでストロボ撮影はできません。

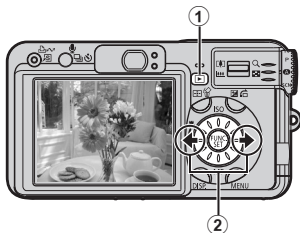
再生する

1 ▶ (再生)ボタンを押す(①)

2 画像を見る(②)

◀/▶ で画像を選びます。

- ボタンを押し続けると、早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。
- DISP. ボタンを押すと、表示されている画像の情報が表示されます。
- コントローラーホイールを回しても画像を選べます。



- ➔ 応用編：いろいろな再生機能をご確認ください
- ➔ 応用編：動画を見る (p. 97)

❗ 他のカメラで撮影したり、パソコンまたは他のアプリケーションソフトウェアで編集した画像は、カメラで再生できないことがあります。

消去する

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

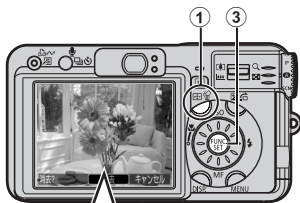
1 ▶ (再生)ボタンを押す


2 ◀/▶ で消去したい画像を選ぶ

3 掬 ボタンを押す(①)

4 [消去]が選択されていることを確認して(②)、FUNC./SET ボタンを押す(③)

- 消去をやめるときは、◀/▶ で [キャンセル] を選びます。
- コントローラーホイールを回しても画像を選べます。



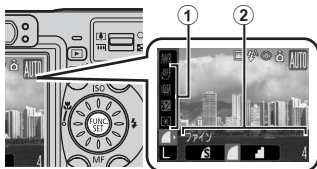
 プロテクトされている画像は消去できません(応用編 p. 107)。

- ➔ 応用編：全画像を消去する (p. 108)

メニューの表示と設定のしかた

FUNC.メニュー

撮影モードのときに**FUNC./SET**ボタンを押すと表示されるメニューです。記録画素数や圧縮率などの設定を行います。



項目を選ぶには **↑/↓** を押す (1)

設定を変更するには **←/→** を押す (2)
コントローラーホイールを回しても選べます

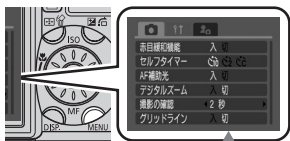
設定が終了したら
FUNC./SETボタンを押す

撮影/再生/設定/マイカメラメニュー

MENUボタンを押すと表示されるメニューです。

カメラの機能に関する設定を行います。[📷 撮影メニュー][▶ 再生メニュー][⚙️ 設定メニュー][👤 マイカメラメニュー]に分かれています。

撮影モードのとき



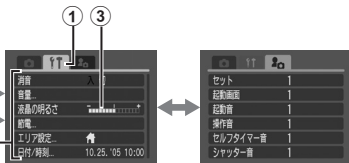
MENUボタンを押す

再生モードのとき



MENUボタンを押す

各メニューを切り換えるには
メニューのアイコンが選ばれているときに、**←/→**を押す (1)
(ズームレバー、コントローラーホイールでも切り換えます)



項目を選ぶには **↑/↓** を押す (2)

設定を変更するには **←/→** を押す (3)
「...」のある項目は、**FUNC./SET**ボタンを押して設定画面を表示し、**↑/↓** **←/→** で設定する*
コントローラーホイールを回しても選べます


設定が終了したら
MENUボタンを押す

* **FUNC./SET**ボタンを押して設定するものもあります。

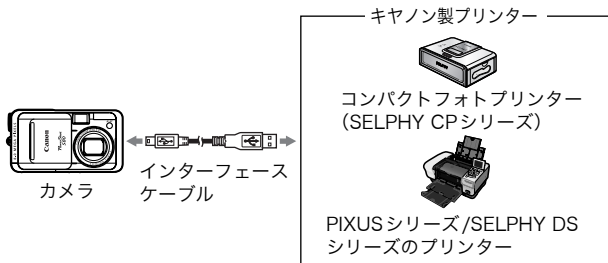
→ 応用編：FUNC.メニューの一覧 (p. 28)

メニューの表示と設定のしかた


印刷する

カメラとカメラダイレクト対応プリンターをケーブルで直接つなぎ、カメラの  ボタンを押すだけで、簡単に印刷できます。


1 カメラとカメラダイレクト対応プリンターを接続し、プリンターの電源を入れる

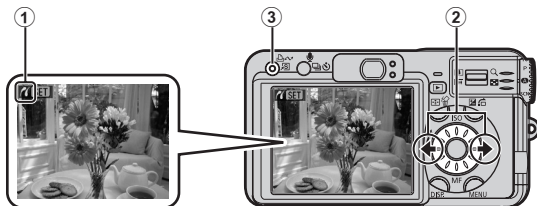


2 カメラの電源が自動的に入るので、液晶モニターの上左に、、 または が表示されていることを確認する(①)

-  ボタンが青色に点灯します。
- 表示されるアイコンは、プリンターによって異なります。

3 印刷したい画像を選び(②)、 ボタンを押す(③)

 ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。

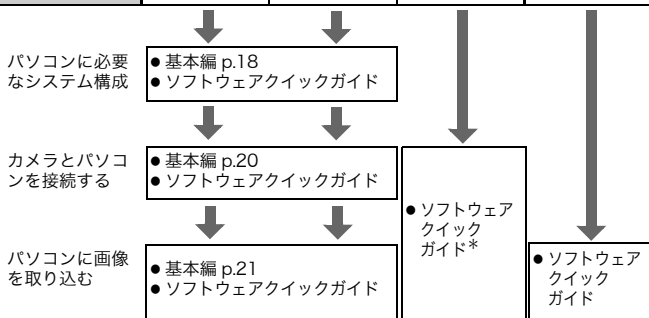


- ➡ 応用編：DPOF の印刷指定 (p. 111)
- ➡ ダイレクトプリントユーザーガイド
- ➡ お使いのプリンターの使用説明書

パソコンに画像を取り込む

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。お使いのOSによっては利用できない方法があります。あらかじめ「パソコンに必要なシステム構成(p.18)」でご確認ください。

付属のソフトウェア	カメラとパソコンを接続する			メモリーカードリーダーを利用する
	インストールする		インストールしない	
取り込む方法	パソコンの操作	カメラの操作	パソコンの操作	パソコンの操作
Windows 98 SE	●	●	—	●
Windows 2000	●	●	—	●
Windows Me	●	●	—	●
Windows XP	●	●	●	●
Mac OS X	●	●	●	●



*「Windows XP、Mac OS Xをお使いの方へ」もご覧ください。

パソコンに必要なシステム構成

Windows

OS	Windows 98 Second Edition (SE) Windows Me Windows 2000 Service Pack 4 Windows XP(Service Pack 1、Service Pack 2 を含む)
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること
CPU	Pentium 500MHz 以上
RAM	Windows 98 SE / Windows Me : 128MB 以上 Windows 2000 / Windows XP : 256MB 以上
インターフェース	USB
ハードディスク 空き容量	<ul style="list-style-type: none">● Canon Utilities<ul style="list-style-type: none">- ZoomBrowser EX : 250MB 以上 (印刷ソフトウェア PhotoRecord 含む)- PhotoStitch : 40MB 以上● Canon Camera TWAIN Driver : 25MB 以上● Canon Camera WIA Driver : 25MB 以上● ArcSoft PhotoStudio : 50MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット High Color(16bit)以上

Macintosh

OS	Mac OS X(v10.2 ~ v10.3)
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5
RAM	256MB 以上
インターフェース	USB
ハードディスク 空き容量	<ul style="list-style-type: none">● Canon Utilities<ul style="list-style-type: none">- ImageBrowser : 200MB 以上- PhotoStitch : 40MB 以上● ArcSoft PhotoStudio : 50MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット 32,000 色 以上

画像を取り込む準備をする

必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。

用意するもの

- カメラとパソコン
- カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」
- インターフェースケーブル(必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。)

1 ソフトウェアをインストールする

1. Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブにセットする

Macintosh

CD-ROM内の[Canon Digital Camera Installer]アイコン(💡)をダブルクリックします。

2. デジタルカメラソフトウェアの[インストール]をクリックし、[次へ]をクリックする



3. [おまかせインストール]を選択し、[次へ]をクリックする

インストール内容を確認しながら、インストールを進めます。



4. インストールが終了したら、[はい、今すぐコンピュータを再起動します]を選び、[完了]をクリックする

Macintosh

インストールが終了したら[終了]をクリックします。

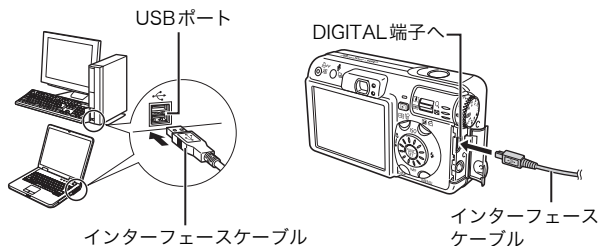


5. 再起動が完了したら、Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブから取り出す

2 カメラとパソコンを接続する

1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する

カメラの端子カバーは、◀マークの方向にスライドさせて、手前に開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。



カメラの電源が自動的に入り、パソコンと通信できる状態になります。

! カメラのDIGITAL端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクタの側面を持って取り外してください。

Windows

[デジタル署名が見つかりませんでした]と表示された場合は、[はい]をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USBドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

パソコン操作で画像を取り込む Windows

カメラとパソコンが通信できる状態になると、初期設定を行うウィンドウが表示されます。

1 [Canon CameraWindow]を選び、 [OK]をクリックする(初回のみ)



右のウィンドウが表示されない場合は、スタートメニューから[すべてのプログラム]または[プログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [CameraWindow]をクリックします。



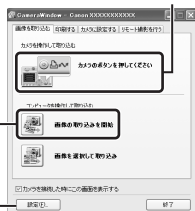
2 画像を取り込む

- 「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
- 初期設定では、[マイピクチャ]フォルダに画像が取り込まれます。

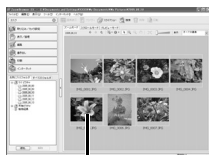
パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

カメラの操作で画像を取り込みます (p.23)。



ZoomBrowser EXのメインウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル(縮小された画像)が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

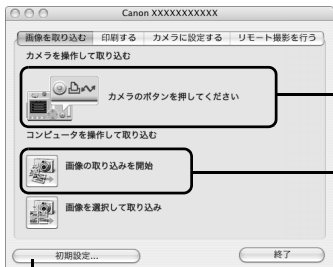


サムネイル

パソコン操作で画像を取り込む **Macintosh**

カメラとパソコンが通信できる状態になると、次のウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock(デスクトップ下部に表示されるバー)の[Canon CameraWindow]アイコンをクリックします。

「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。



カメラの操作で画像を取り込みます。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。






サムネイル

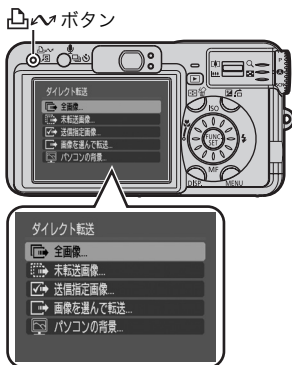
ImageBrowserのブラウザウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル(縮小された画像)が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

カメラの操作で画像を取り込む(ダイレクト転送)






初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください(P. 19)。

カメラとパソコンが接続されると、 ボタンが青色に点灯し、カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されます。このとき、カメラ側の操作で画像を取り込みます。

 ダイレクト転送画面が表示されない場合は、 ボタンを押してください。




ダイレクト転送では、次の転送方法が選べます。

 全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
 未転送画像	まだ取り込んでない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
 送信指定画像	送信指定(応用編 p. 115)した画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
 画像を選んで転送	画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
 パソコンの背景	画像を見ながらパソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

【全画像】【未転送画像】【送信指定画像】のとき

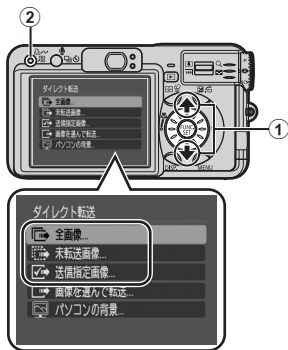
↑/↓ で、、、のいずれかを選び(①)、ボタンを押す(②)






画像がパソコンに転送されます。
取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。



取り込みを中止するときは、**FUNC./SET**ボタンを押してキャンセルします。

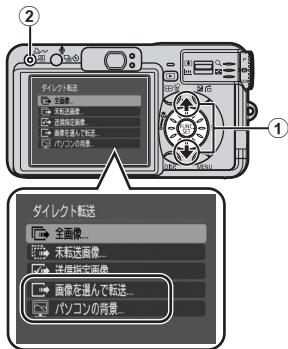
画像の取り込みが終了すると、ダイレクト転送画面に戻ります。



[画像を選んで転送][パソコンの背景]のとき

1 ↑/↓ で  または  を選び
(①)、 ボタン(または
FUNC./SETボタン)を押す(②)

2 ←/→ で取り込みたい画像を選
び、 ボタン(または
FUNC./SETボタン)を押す
画像が取り込まれます。
取り込み中は ボタンが青色
に点滅します。
インデックス再生中も画像を選べ
ます。




3 MENUボタンを押す
ダイレクト転送画面に戻ります。



[パソコンの背景]の場合、JPEG圧縮の画像のみが取り込まれま
す。Windowsをお使いの場合は、BMPの画像が自動的に作られます。



 ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶され
ます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項
目が選択されます。[画像を選んで転送]と[パソコンの背景]を選択
していたときは、ただちに画像を選択する画面が表示されます。